

都議会議員 伊藤こういち 通信



東京都議会 平成 28 年 第 3 回定例会特集

盛り土問題と「食の安心・安全」の再構築を

豊洲市場の地下空間など緊急調査!

伊藤こういち都議は、9月13日、東京都卸売市場審議会において、「都は議会において事実と異なる答弁をしてきた。都民・国民をはじめ、議会や市場関係者からも信頼を失った。原因究明、再発防止、安全対策の再構築などについて、説明責任を果たすよう強く求める。」と都をたどしました。また、都議会公明党は、「豊洲市場整備問題対策プロジェクトチーム(PT)」(伊藤こういち事務局長)を編成し、4回にわたり豊洲市場の土壌汚染対策の現場を調査するため、メイン施設となる青果棟や水産卸売場棟、仲卸売場棟の地下空間などの視察・調査を行いました。

砕石層むき出しの水たまりが発覚!

豊洲市場視察・調査<第一弾> 9月14日(水)

青果棟の地下で地表から2m掘削した後に敷いた砕石層がむき出しの現場を調査。深さ13~17cmの水がたまっている状況を確認し、その水を採取しました。

水産卸売場棟や仲卸売場棟の地下では、コンクリートの床に深さ約2cmの水がたまっていました。続いて、地下水のモニタリング調査の現場や、水位、水質を監視するための「地下水管理システム」の試運転状況などを視察しました。

PTの伊藤こういち事務局長は、「試運転しているにもかかわらず、なぜ建物の下に水がたまっているのか」とたどし、安全対策を検証するよう訴えました。



青果棟で水たまりの水深を測る

新たに1棟で水たまりが発覚!

豊洲市場視察・調査<第三弾> 9月23日(金)

都は土壌汚染対策として盛り土を行うと説明しながら、実際には行っていなかった主要建物のうち、加工パッケージ棟と管理施設棟の地下空間を初めて公開しました。

加工パッケージ棟地下の床は、厚さ10~20cmのコンクリートが敷設されていました。広範囲に水がたまり、深いところで最大23cmほどの水位になっていることを確認しました。

PTメンバーは、加工パッケージ棟地下のたまった水について、「降雨で地下水が上昇してきたもの」と指摘。その上で、都はなぜ地下水位を計測し管理してこなかったのか、たどしました。



加工パッケージ棟で水たまりの奥へ進む

重機搬入口が発覚! 地下水位が高い!

豊洲市場視察・調査<第二弾> 9月21日(水)

青果棟など主要3施設の地下空間に地上から重機を入れるために設けられた搬入スペース「マシンハッチ」の存在を確認しました。また、地下水位を常時観測するはずの「地下水位観測井戸」では、メジャーを使い地下水位を測り、想定を超える高さであることを確認しました。

また、青果棟の地下空間では、たまっていた水の水位が前回調査より2cm程度上昇していることも確認し、「最近、降り続いた雨により地下水が上がってきたのではないかと」指摘しました。



重機搬入口(足元の部分)を確認



地下水位観測井戸で調査・計測する

地下水管理システムなど調査!

豊洲市場視察・調査<第四弾> 10月26日(水)

10月14日から本格稼働した地下水の上昇を防止する「地下水管理システム」などの運転状況を視察しました。

都はこれまで「地下水の上昇を抑えるシステムが本格稼働すれば建物下にたまっている水は解消される」と説明していました。

現地では、地下水位を常時計測する観測井戸のほか、水位上昇時に自動的に水をくみ上げる揚水井戸、さらには自動で水質分析を行う浄化施設などの機能をチェック。水位は低下傾向にあるものの依然として高いことを確認しました。



揚水井戸の稼働状況を調査する

都議会公明党が、小池百合子都知事に申し入れ

都議会公明党は9月21日、都庁内で豊洲市場の主要施設で盛り土が行われていなかった問題などに関する「要望書」を、小池百合子知事に提出しました。

2回の現場調査を重ねてきたことを踏まえ、こうした事態を招いた経緯を検証するとともに、一連の問題の原因究明と、食の安全確保を求めました。小池知事は、(水質の)検査結果を都民に分かりやすいようにまとめるとした上で、申し入れに対し「早速、進めさせていただく」と述べました。

